

こんにちは!!
市長です
Vol.42
「希望の道をつなごう」

3月31日、伊香保温泉の石段で、東京2020オリンピック聖火リレーが行われました。聖火リレーを記念して、石段下の広場を「だんだん広場」と名付けました。聖火が石段を下って、だんだん近づいてくるワクワク感を込めて、多くの公募作品の中から選ば



▶だんだん広場での聖火リレー

れました。

聖火ランナーの一人は、小野上地区出身でパラリンピック出場内定者の唐澤剣也さんでした。唐澤さんは、小学4年生のときに病気が原因で失明をしてしまいました。障害を乗り越えて日本を代表するアスリートになりました。唐澤さんが「だんだん広場」のステージ上で、堂々とトーチを掲げる姿に感動しました。

また、オリンピックに出場する選手では、白血病との闘病から奇跡的な回復を果たした競泳の池江璃花子さんがいます。東京五輪代表選考会で優勝した後のインタビューで、池江さんは涙ながらに「苦しかったけれど努力は必ず報われる」と話していました。この言葉に励まされ、純粋な涙の美しさに感動を覚えた人も多いと思います。

「希望の道をつなごう」が、聖火リレーのコンセプトです。障害や病気など、さまざまな困難に立ち向かっている人がたくさんいます。

『寒さに震えた者ほど太陽を温かく感じる』というアメリカの詩人ホイットマンの言葉があります。コロナで苦しい時ですが、皆で支え合い、助け合い、励まし合って、希望の道をつないでいきましょう。